

KSKS

わぁ〜い

編集人

社会福祉法人

心 愛

〒573-0146

枚方市大峰元町1丁目21-5

TEL 072-859-9194

FAX 072-859-9195

NO. 50 2024. 12. 15

shingakujuku2004@themis.ocn.ne.jp

<http://www.shinai.info>



快晴の心学塾フェスタ! 動物園、フェイスペイント、
キッチンカーからの美味しそうな匂い!
楽しいな! 美味しいな! ワクワク!!!

日 々 雑 感

理事長 藤 澤 秀 治

今年も盛会裏に「秋空マルシェ&みんなでふれあいワクワク体験」と銘打つ「心学塾フェスタ」が終った。ご来場いただいた皆さんには楽しいひとときを過ごしていただけたものと思う。入場者数はおよそ昨年の倍近く、200 名を超え、それも地域の方々の参加が多かったと考えられ、主催者として大変うれしく思っている。また、移動動物園をはじめ物品販売やキッチンカーでご協力いただいた近隣の作業所やそれぞれの事業所にもお礼申し上げたいと思う。



2024 年 心学塾フェスタ うなぎ堀み

さて、衆議院議員選挙が終わり、今、政府は少数与党となり所得税がかかる「103 万円の壁」が話題になっている。また、国民年金や国民健康保険料の支払いが発生する「130 万円の壁」もある。本法人においても、毎年年末になると、それらの壁を出ないように働き控えをする非常勤職員のシフトづくりに苦労しているという現実もある。

この「壁」を、国民民主党の言う、過去 30 年の最低賃金の上昇率 1.73 をもとに算出した 178 万円にすると、年収 200 万円の人は 8.2 万円、500 万円の人は 13.2 万円手取りが増えるという試算がある。反面、国と地方の税収は 7.3 兆円減り、全国の知事や市長が「住民サービスに悪影響が出る」と懸念を表明している。大阪府でも約 960 億円、府下市町村では約 2000 億円の減収になるという。それを補填する仕組みを示そうにもないのが現実だが、何らかの仕組みを作らないと、それぞれの手取りは増えても、行政サービスが低下してしまう。それでは何のための「減税」なのかわからない、今後の真摯な議論を期待しながら見守りたいと思う。

11 月 2 日、知的ネット（市内の知的障害者社福法人で構成）の講演会が開催され、7 月にあった、大阪市内の分譲マンションに設置したグループホームが、管理組合から突然退去を求められた裁判の経過と和解についての学習会が開催された。

この裁判は、消防法と区分所有法（分譲マンションの法律）を追い出しの理由にした全国初の裁判である。一審では、グループホーム側の全面敗訴であったが、丸 6 年かかった高裁の控訴審でグループホーム側の主張が受け止められ、勝訴以上の和解になったという報告である。

障大連や弁護団をはじめ関係各位の地道なご奮闘に、ただただ敬意を表するばかりである。

コマツ大阪工場事業所フェア販売



11 月 10 日(日)コマツ大阪工場事業所フェアに出店させていただきました。前日まで天気の手配がありましたが、見事な晴天。久しぶりに就 B 全員で販売に行く事が出来ました。渋滞でパンの到着が遅れてしまいましたが...その間にも米粉パンは?の声を何度かかけてもらい、少しずつですがコマツ大阪工場事業所フェアの販売でも米粉パンが周知されていると感じ、嬉しいスタートでした。

コロナ禍の制限ありの販売ではなく、やっと以前の賑やかさが戻ってきた感じで...たくさん用意してきた米粉パンは 1 時間ほどで完売。その後もたくさんのお客様に声をかけていただきました。多めに用意した焼菓子も次々と売れて忙しく嬉しい悲鳴となりました。普段、販売を担当しているメンバーたちの働きを見るのは久しぶりでしたが...自分の担当する持ち場で日頃の経験を活かし活躍していました。忙しい販売でもスムーズに動けていることに驚きました!

販売時間以外の自由時間は、たくさんの方のキッチンカーで各々好きなものを買って食べる...これもこの日の楽しみの 1 つ。みんな美味しそうなごはんやジュース、ポテトなどを購入し満喫しました。普段は製造を担当しているメンバーや職員にとって、自分たちが作った焼菓子やパンがたくさん売れていくのが見られることはとても嬉しいものでした。

次はこうした方がいいな!これをたくさん持ってきた方がいいよね!と来年に向けての意気込みいっぱい、楽しい 1 日は終了しました。(久保)



販売で忙しい中の休憩です★

製造担当の
メンバーさんも
とても楽しそうです





心学塾フェスタ

～秋空マルシェ&みんなでふれあい♡ワクワク体験～



2024 年の心学塾フェスタは、“秋空マルシェ&みんなでふれあい♡ワクワク体験”をテーマに、好天に恵まれた中、開催いたしました。昨年好評だった移動動物園。今年は“水のいきもの”とのふれあいを体験していただきました。うなぎつかみやどじょうすくいとドクターフィッシュ。うなぎを掴む機会も普段はなかなかなく、“ヌルヌル”のイメージがあり、実際に掴んでみると、想像通り“ヌルヌル”。でも掴んだ後の自分の手は全くヌルヌルしないという 50 代にして初体験と発見でした。ドクターフィッシュもよく聞いていましたが、初体験。ご来場の方々も同じような方が多く、ワクワク心を躍らせるお姿が多く見られました。なかにはその場から離れられなくなったお子さんもいらっしゃいました。

もう一つのテーマ、“マルシェ”では地域事業所や店舗さんに参加していただき、それぞれ作られている野菜やアクセサリーなどの雑貨販売や体験型イベントで盛り上げていただきました。野菜は新鮮かつ美しくお手頃価格で大人気でした。スーパーボールすくいなどの体験もありお子様も楽しまれていました。また、キッチンカーにも来ていただき、例年にない暖かさの中、テーブルで飲食を楽しみながら、皆さん思い思いにゆったりとした時間を過ごされていました。

建物内では昨年に続き、この作業所でのメンバーさんの日頃の活動を紹介させていただきました。作業所での開催という点では、施設の雰囲気を感じていただけたかと思えます。

昨年よりも多くのお客様にお越し頂きたく、楽しい時間を過ごせる事を願い、準備などに夜遅くなることもありましたが、それを忘れてしまうほど皆さんと共に楽しい時間を過ごさせていただきました。(佐々木)



販売



キッチンカー



ドジョウすくい



ドラゴンフィッシュ



手作りワークショップ



スーパーボールすくい



フェイスペイント



私が入職して 2 回目の心学塾フェスタでした。
 何から手につけていいのか分からない中一緒に
 担当だった佐々木職員に教えて貰いながら、ギリ
 ギリまでキッチンカーを探したりとバタバタ
 した準備期間でした。一時はちゃんと本番を迎
 えることができるか不安でしたが、当日を迎え
 ると一般の方や心学塾のメンバーさん御家族の
 方々が沢山来て下さり、焼き鳥やカレーなどを
 美味しく食べたり、触る機会の少ないうなぎ掴
 みに悪戦苦闘しながら遊んでいるのを見て楽し
 んで頂けているのが実感できて凄く嬉しかった
 です。フェイスペイントも盛り上がり、とても
 華やかでした。職員の方々も盛り上げて頂きあ
 りがとうございました!

(高田里絵)

生活介護 秋のバス遠足

ここ数年コロナ禍で、感染対策の一環として作業所の車を利用し、少人数のグループで遠足に行っていましたが、今年は来年予定している1泊バス旅行の練習も兼ねて、11月1日(金)観光バスに乗り琵琶湖博物館へ行ってきました。行く前は、静かな環境を好む人、大きな声が出てしまう人、人との距離を保ちたい人等がいる中で、車内でトラブルが起きないだろうかと、いろいろな心配をしていましたが、当日はバスの乗車もスムーズにでき、車内では車窓の景色を楽しむ人、おしゃべりを楽しむ人、寝てしまう人と思い思いに過ごされ、心配していたトラブルもなくバス練習は大成功でした。

現地では、あいにくの雨天の為、外の広場で遊ぶことは出来ませんでしたが、博物館内の見学や皆でレストランで昼食を食べたり、買ったお土産を見せ合ったりと楽しい時間を過ごし良い思い出が出来ました。(深田)



新しい習慣とホメオスタシス

短い秋が終わりようやく寒い季節が訪れました。先日、庭先でシクラメンの幼葉を見つけました。ずいぶん前に地植えした後、枯れたと思っていたのを見ると鮮やかな葉を何枚も付けています。

植物は土の中に必要とする栄養が少なすぎても、一定の濃度を保つために吸収や排出をして育つ働き「ホメオスタシス（恒常性）」という能力が備わっていてこの効果がシクラメンを再び咲かせたのかもしれませんが。

人を含めた動物にもこの「ホメオスタシス」は作用していて、今年のような酷暑の夏でも体温を一定に保ったり、軽いけがや風邪等が回復したりするのもホメオスタシスのおかげです。

そして心にもホメオスタシスのはたらきがあって、心が過度に不安定ならないように、怖がらないように、毎日の変化に対応して心の健康を保とうとしてくれています。

ただ一方で、ホメオスタシスが変化を元に戻そうという働きで、成長や進歩の妨げになる場合もあります。例えば新しい仕事を与えられた時に「できるかなあ。新しい作業を覚えるの大変そう!」と感じてしまったり、「ダイエットが続かない。」等がよくあげられます。

心理学では、これらは決してその人が特別に意志が弱いわけではなく、いつもの作業、元の体型を維持したいとホメオスタシスが作用しているからと考えられます。でも、人はこれまで成長して進化してきたのですからこのホメオスタシスを一歩前進して、変化した習慣を上書き保存するには?と考えてみました。

今年に入って、作業所の生活介護のメンバーさんの新しい取り組みでリラクゼーションやウォーキングが導入されました。きっと最初は戸惑いもあったと思いますが、数カ月が経ってウォーキング帰りのメンバーさんの表情は高揚して、スッキリした様子の方が多いなあと感じます。

職員さんの励ましや、一緒に歩幅を合わせて取り組んでくれるサポートがあって、そしてそれが変わりなく継続していくことでそこで初めて「習慣」となって個々のホメオスタシスが塗り変えられるのかもしれませんが。

新しいことを始める時、元に引き戻されそうな力が働いたとしてもそこに寄り添ってくれる誰かがいることで前に踏み出せそうです。そしてそれを五感で心地よいと感じれば続けられる。これまでの経験値が上書き保存されて新しい習慣が出来上がっていくのだなあ感慨深い発見でした。

ピアカウンセラー 林 裕子

寄付金をいただきました。



紙面をお借りして心より御礼申し上げます。(敬称略・順不同)

2024 年 8 月 9 日~2024 年 12 月 10 日

山越 良七/仲田 美貴子/鈴木 修/辻本 好晴/上谷 順子/阿部 繁雄/渡辺 義彦/奥西 嘉一/桜木 誠子/千賀 美智子/重村 恵未/藤田 幸代/辻 宗史/岩崎 都/竹中 由紀子/中司 宏/松倉 延次・景子/大森 由紀子/松原 武徳/和田 正直/笹井 充子/荒尾 小枝子/寺本 達/後藤 蓉子/松尾 一義・美根子/長村 みどり/森 泰夫/岸田 善三郎・晃子/東野 幸治/山崎 隆志/中尾 多美子/池永 満生/小山 康子/松本 則雄/佐野 照子/岡村 房子/藤澤 秀治

心学塾は地域のイベントでも販売を行っています。是非 遊びに来て下さいね！

津田フェスタ 2024

11 月 24 日（日）に津田生涯市民センターにて津田フェスタ 2024 が開催されました。心学塾作業所もパン、焼き菓子等の販売で参加させて頂きました。半年前位から地域の団体、サークルの人達と会議を何回も行い、フェスタを作り上げてきました。地域とのより強い繋がりを目的の一つとしている私達にとって、津田フェスタを通じて地域住民、団体、サークルの方達と交流を深めるきっかけになりました。今回はダンスや演奏以外にプロレス団体のマットプロレスショーがあり、幅広い年齢層の人たち楽しんでいただいたフェスタでした。去年に引き続き沢山のお客様に作業所の商品を知ってもらい、一部のお客様から「去年クッキーと米粉パンを買って凄く美味しかったので今年も買いに来た。」言ってもらい、私達が皆で力を合わせて試行錯誤して作り上げてきた商品が誰かの喜びに繋がっていると感じ、とても嬉しく誇らしい気持ちになりました。（河村）

11 月 23 日（土）山田中学校ふれあい広場にて

北風が渡り通る寒い一日でしたが、山田中学校の皆さんとのふれあいで心あたまる販売になりました。仲良くなった他施設のメンバーさんとも了解を得て「はい、ポーズ」のひとこまです。（久保田）



お声掛けありがとうございます

心学塾作業所は、障がいのある人が様々な人々と関わる中で社会の一員としての尊厳をもてるようになり、その人らしく暮らせる地域共生社会を目指しております。その為、地域のイベントにお声掛け頂ける事、大変うれしく、感謝申し上げます。今後も人の縁、心の繋がりを根幹として地域と共に成長していきたいと思ひます。 施設長 吉川隆雄

ご寄附のお願い

社会福祉法人心愛では、どのような時代がこようとも知的にハンディのある利用者が地域で安心して幸せに生きていける社会の実現を目指しています。しかしながら、現在の社会福祉制度において施設の建設・運営等の資金は、公的補助金と寄附金を前提に成立しています。

当法人も創成期より多くの方々のご善意とご支援のもとで、サービスの充実化や福祉の課題に向き合い、事業を継続してまいりました。その為、お寄せいただいた寄附は財源の一部とし、利用者の高齢化等による課題に向けての設備の充実化やサービス向上、事業の拡大等に活かしていきたいと考えています。皆様からのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人心愛への寄附は寄附控除の対象となります。

12 月の予定

12/7（土）土曜開所
12/13（金）市役所バザー
12/19（木）セ・ボン販売
12/27（金）市役所バザー
12/30（月）～1 月 5 日（日）
冬季休暇

★編集後記★

一年の経過が年々早く感じています。今年は何ができたかな？と自分にと問う時期でもあります。2024 年は元旦から大変な災害がありました。心学塾作業所では定期的に避難訓練を行い、防災について研修を実施しております。当たり前のことが出来ている日常に感謝して、毎日を大切に楽しく過ごしたいですね！

●○編集後記○● 渡加・深田・津熊